

# 取扱説明書

---

## CA型ボウルフィーダ

CA-150／190／230／300／390／460

お買い上げいただきありがとうございます。  
製品の機能を正しく発揮するために、初めてご使用になる方はもちろん、よくご存知の方も必ずこの取扱説明書をお読み下さい。また本取扱説明書は最終ご需要先まで必ずお届け下さい。





## 目次

1. はじめに
2. 購入時の点検について
3. 安全上のご注意
4. 使用上のご注意
5. 構造と名称
6. 仕様
7. 保証

## 1. はじめに

このたびは、CA型ボウルフィーダをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

CA型ボウルフィーダは、交流電磁石（コイル）とそれによってバネに蓄えられたエネルギーとの相互のパワーで作動する構造になっています。

ご使用になる前に本取扱説明書を必ず熟読の上、安全に、正しく利用されて機能を発揮いただくようお願い致します。

## 2. 購入時の点検について

梱包を解く場合に衝撃や振動を与えないように取り扱ってください。

梱包を解いて



- (1) 輸送中に破損したものがないか
- (2) 銘板に記載されている定格、容量、型式は注文通りか


をご確認下さい。万一不具合の所がございましたら、ご注文先にご照会下さい。

## 3. 安全上のご注意


製品をご使用（据付、運転、保守、点検等）の前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、機器の知識、安全の情報、注意事項のすべてについて習熟してからご使用下さい。

この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」、「注意」として区分してあります。

 <b>危険</b>	取扱を誤った場合に、危険な状況がおりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
 <b>注意</b>	取扱を誤った場合に、危険な状況がおりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合及び部分的損害だけの発生が想定される場合。

 危険

- ・活線状態で作業をしないで下さい。感電のおそれがあるため、必ず元電源を切って作業をして下さい。
- ・分解・改造・修理をしないで下さい。感電、火災、けがの原因となります。修理は販売店にご依頼下さい。
- ・内部に物を入れたり差し込まないで下さい。感電、火災の原因となります。
- ・爆発・引火性のガスのある場所で使用しないで下さい。感電、火災の原因となります。
- ・水などの液体をかけないで下さい。感電、火災の原因となります。
- ・発煙・異臭・異常音などの異常が発生した場合すぐに入力電源を遮断して下さい。そのまま使用すると火災の原因となります。販売店までご連絡下さい。
- ・長時間運転しない場合は、入力電源を遮断して下さい。そのまま通電していると火災の原因となります。
- ・感電や火災のおそれがあるため、配線は取扱説明書にそって実施して下さい。
- ・感電のおそれがあるため、電源ケーブル、出力ケーブル等を無理に曲げたり、引っ張ったり、挟み込んだりしないで下さい。
- ・感電のおそれがあるため、アース用端子又はアース接地指示部を確実に接地して下さい。高い所や転倒しやすい台に接地する場合は、条件により落下、転倒のおそれがありますので、落下、転倒防止の処置をして下さい。

 注意

- ・圧電方式用のコントローラでは動作できません。
- ・入力電源が入った状態で振動機側での溶接作業を行わないで下さい。
- ・振動機とコントローラが接続された状態で溶接作業を行わないで下さい。
- ・銘板・シール等を取り外さないで下さい。
- ・製品を取付する際は確実な保持・固定を行って下さい。
- ・製品の落下によりけがのおそれがあるため、梱包状態でも積み上げて輸送運搬しないで下さい。
- ・屋外、湿度の高い場所、温度変化の激しい場所に置かないで下さい。
- ・梱包状態でも二段以上積み上げないで下さい。
- ・製品を廃棄する場合、一般産業廃棄物として適切な廃棄処理を行って下さい。

## 4. 使用上のご注意

### フィーダ移動（運搬）時の注意

- 人体への危険が予想されますので、絶対に人手にて持ち上げず、必ず運搬用機器をご使用になり、極力フロアに近い高さで、ゆっくり移動して下さい。  
※センタータップをご利用の際は、アイボルトが確実に締め込んであるか確認を行って下さい。
- ※万一落下等の危険が予想されますので、移動の際はフィーダとフロアの間には人体または、人体の一部を絶対に入れないで下さい。

### 溶接時の注意

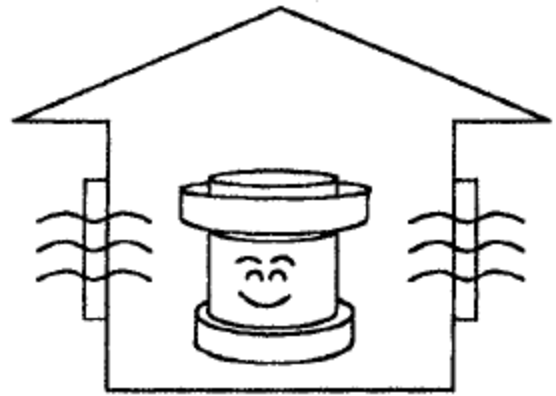
- コントローラに接続したままで行わないで下さい。  
※コントローラ破損の原因になります。
- ボウル以外から溶接機のアースを取らないで下さい。

### その他の注意

- 必ず振動機及びコントローラとも、接地（アース）をおこなって下さい。
- 許容電流以上の電流でのご使用は絶対にしないで下さい。  
※コントローラやマグネット損傷の原因になります。  
※また、過大なエアギャップも過剰電流の原因になります。
- ハンマーリングを起こした時は、一度に数秒以上、フィーダを動かさないで下さい。  
※板バネ等の損傷の原因になります。

**!** 据え付け上の注意

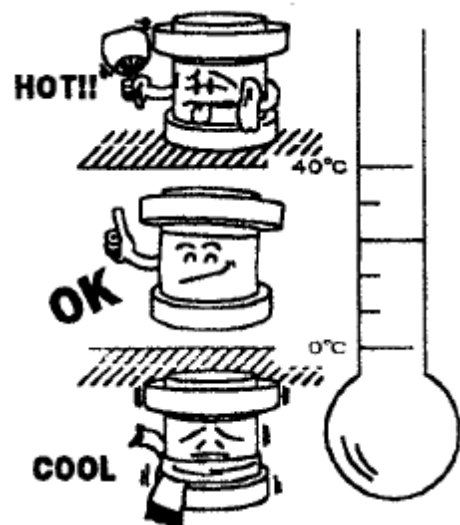
- 高温、多湿の場所、金属粉の多い場所は避け、換気の良い室内に設置して下さい。



- 斜面及び不安定な場所、また振動の大きな場所には設置しないで下さい。

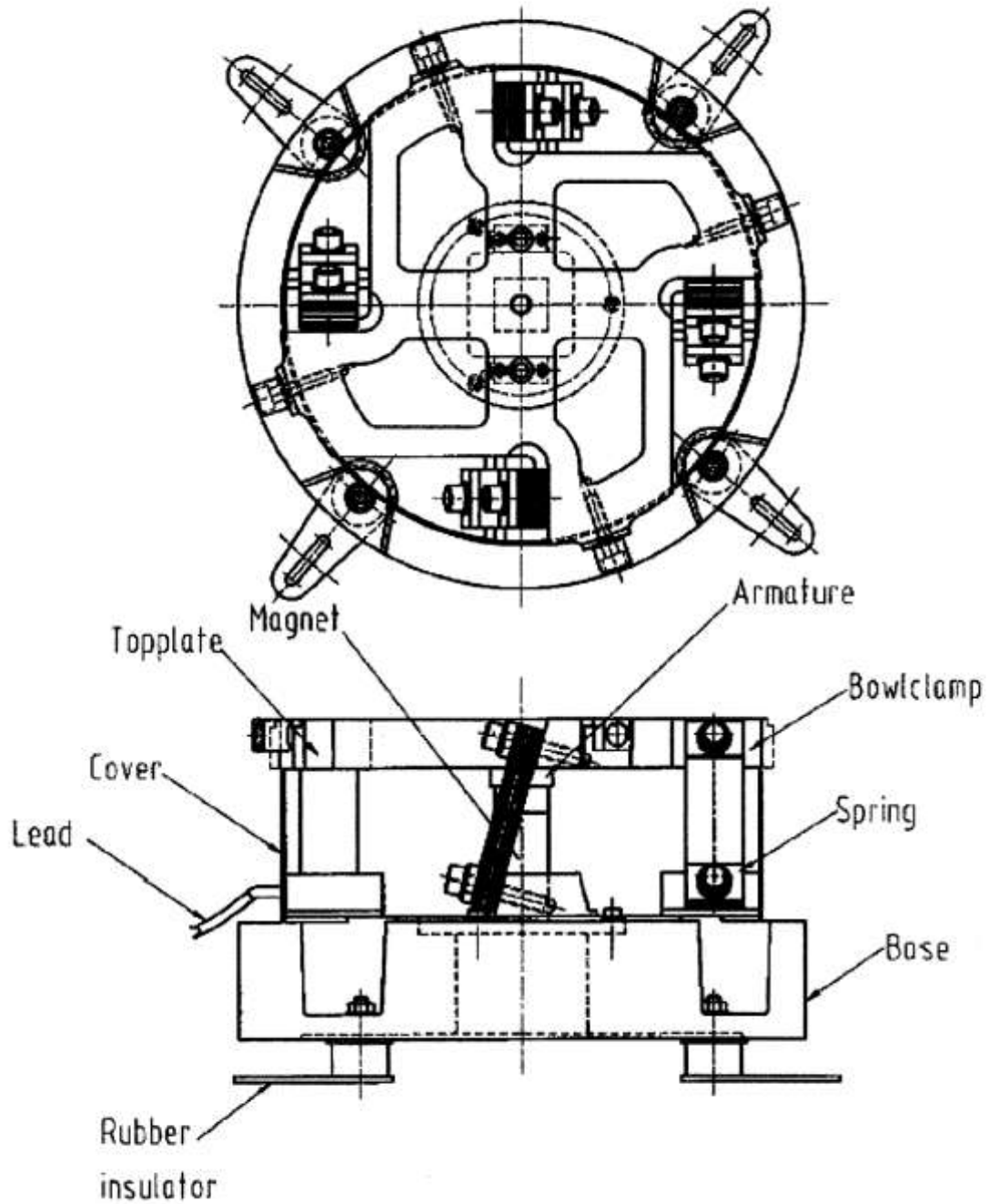


- 周囲温度は0～40℃の範囲で  
ご使用下さい。



5, 構造と名称

CA-150/190/230/300/390/460



※詳しい寸法等は、SANKI CAシリーズのカタログを参照願います。

## 6. 仕様

項目 \ 型式	CA-150	CA-190	CA-230	CA-300	CA-390	CA-460
ばね角度 ( $\theta^\circ$ )	15					
板ばね設置 (ヶ所)	4					
マグネット (個)	1					
防振ゴム脚 (個)	4					
ボウルクランプ (個)	4					
リード線長さ (mm)	900					
使用温度 ( $^\circ\text{C}$ )	0~40					
使用湿度 (%RH)	10~90 (結露しないこと)					
入力周波数 (Hz)	50 又は 60					
塗装色 (ベース)	ニットコウ S2-1034					
塗装色 (カバー)	ニットコウ S3-309					
振動機外径 ( $\phi$ )	160	220	260	345	445	530
振動機高さ (mm)	132.8	185.5	198	220	266	300
振動機質量 (kg)	8.6	20	29	51	93	148
許容最大ボウル径 ( $\phi$ )	250	310	370	500	620	760
許容最大ボウル質量 (kg)	3	5	7	12	20	30
許容ワーク質量 (kg)	1	2.5	3	4	6	10
入力電圧 AC (V)	220					
許容電流 (A)	0.09	0.5	1.2	1.2	2.7	4.5
駆動波形	全波					半波
板ばね材質	スチール					
エアギャップ (mm)	0.15	0.2	0.25	0.25	0.25	0.5

## 7. 保証

保証期間は製品出荷日より1年間です。

(ただし、1日8時間運転として換算します。)

〔保証条件〕

1. 保証の期間中に、取扱説明書、製品貼付けのラベル等の注意書きに従った使用状態において発生した設計、材質、工作上的欠陥に起因する故障または破損について無償で修理または部品交換いたします。
2. 次のような場合は、保証期間内でも保証に適用外とさせていただきます。
  - ①火災、地震、水害等の天災が発生した場合、指定外の電源（電圧、周波数）などによる故障または損傷。
  - ②付属機器や消耗部品、製品の取扱いまたは操作上の誤りなどにより発生した故障。
  - ③取扱説明書に記載の使用条件、仕様方法、注意反する取扱いによって発生した故障。
  - ④弊社の了解を得ずに行なった改造または分解等による故障または破損。

本取扱説明書は機能向上などのため予告なく変更することがあります。

改訂 2026年06月 3版  
発行 2015年05月



株式会社産機

◇仙台出張所 TEL: (022) 263-8345 FAX: (022) 263-8354

◇東京営業所 TEL: (03) 3493-6187 FAX: (03) 3493-6195

◇名古屋営業所 TEL: (052) 691-1147 FAX: (052) 692-1915

◇大阪営業所 TEL: (06) 6746-8222 FAX: (06) 6746-8224



<http://www.sanki-web.co.jp>